

Grade up your web pages!

人気サイトで見た“あの最新機能”を盗め!

冬休みは、今まで更新をサボってきたホームページをリニューアルする絶好のチャンス。どうせなら、人をあっと言わせるページを作って、アクセス数アップにつなげたいところだ。それにはデザインや構成を少々いじるだけでは物足りない。訪れた人がページ作者とコミュニケーションできるページや、ポータルサイト並みの高性能な機能が欲しい。プロも顔負けの最新の技を使って、ホームページをグレードアップするさまざまな方法をお届けしよう。



冬休みの

KENT(P.184~P.187)、Studio BEAMS(P.188~P.189)、大内 勇(P.192~P.193)、
吉田 敬(P.196~P.197)、太田 剛(P.200~P.201)、梶 浩和(P.198~P.199、P.202~P.203)+編集部
Photo: Nakamura Tohru

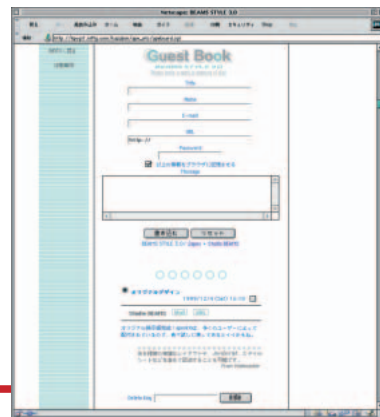
ホームページ グレードアップ 大作戦

ホームページで 「これがしたい」に すべて答える!

いよいよ西暦2000年。ホームページも90年代のままではいられない。ほこりをかぶった自分のページと世の中の人気ページを比較して、いったい何が足りないのかを考えてみよう。「自分のページにもこんな機能がほしい、でもやり方がわからない」というものがきっとあるだろう。そこで今回はあなたのホームページをグレードアップさせる9個の技を用意した。冬休みが明けるときまでに、人に差を付けるホームページを作ってみよう。

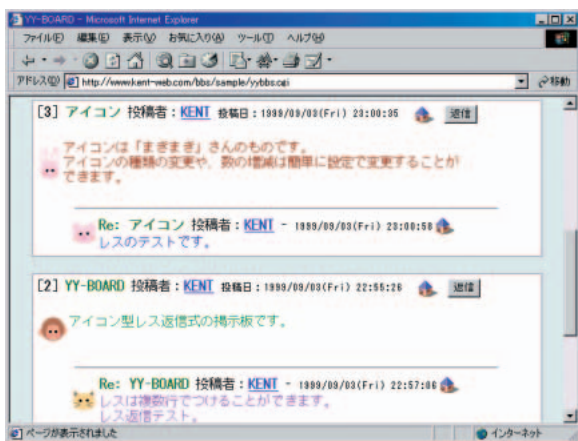
2 オリジナリティーのある掲示板を作りたい apeboardをデザインしよう ▶▶P.188

レンタル掲示板でも自分でCGIを用意しても、掲示板のデザインは平板なものになりがちだ。自分の個性を活かした掲示板で訪問者にアピールしたい。そんな人には色や画像を自由に指定してデザインを変えられるapeboardを紹介しよう。CGIスクリプトを書き換えるような難しさはない。用意されたHTMLファイルを自分の好みに合わせて編集するだけで、オリジナリティーあふれる掲示板がで上がる。



1 掲示板にもっと人を集めたい YY-BOARDを設置しよう ▶▶P.184

ホームページを持っている人なら一度は掲示板を作ってみたことがあるだろうが、いまいち盛り上がり欠けてしまったのではないだろうか。何か楽しい仕掛けのある掲示板を作って、参加者が気軽に書き込めるような雰囲気にはしたい。そんな人は、発言に好きなアイコンを付けて会話を楽しめるYY-BOARDで掲示板を盛り上げてみよう。



3 どんな人が見ているのを知りたい アクセス解析を利用しよう ▶▶P.190

アクセスカウンターの数字だけでは物足りない。もっと細かく訪問者の傾向をつかんでホームページを改善したい。そんなときはアクセス解析を使って、何時にどこからどんなブラウザでアクセスがあるかを調べてみよう。



4 「あなたの 度チェック」を作りたい JavaScriptで仕掛けを作ろう ▶▶P.192

最近ウェブ上で流行しているのが人の性格を判断する「あなたの 度チェック」。訪れた人がマウスでチェックしてボタンを押すだけで、「あなたは 人です」のように表示する仕掛けだ。これを自分のページにも付けるにはどうすればいいだろうか。この記事で用意したJavaScriptを自分のセンスに合わせて改造すれば、簡単に楽しい仕掛けがで上がる。ページの人気度アップは間違いなしだ。

6 携帯電話でも読めるページにしたい iモード用のページを作ろう ▶▶ P.196

自分のホームページのウリを「新しさ」に求めたいなら、流行のiモード用ページを作って、携帯電話でも使えるようにしてはどうだろう。難しいことは何もない。普通のHTMLの知識とちょっとしたコツがあればだれにでも簡単にできる。パソコン用のブラウザとiモード用のページを共通にしたり、ページの人気を高めたりするためのさまざまな工夫も紹介しよう。



5 ポータルサイトのように カスタマイズできるページを作りたい JavaScriptと クッキーを使いこなそう ▶▶ P.194

Yahoo!のような強力なカスタマイズ機能を備えたポータルサイトはどうすれば作れるのだろう。実は個人のページでも同じサービスはできるのだ。この記事で用意したクッキーを扱うJavaScriptのサンプルを使えばプロに近づける。

7 ホームページを作って収入を得たい バナー広告を貼ろう ▶▶ P.198

ただページを作って自己満足するだけでは時間ももったいない。趣味のページを作りながらお金も手に入る方法はないだろうか。そんな人は個人向けのバナー広告掲載サービスを使ってひと稼ぎしてみよう。

9 訪問者と気軽に交流したい 最新ツールを使って チャットをしよう ▶▶ P.202

テンポの遅い掲示板では物足りない。ページを訪れた人からもっとダイレクトに感想を聞いてみたい。そんな人に、ホームページを見ながら訪問者とチャットができる最新のツールをいくつか紹介しよう。



8 覚えられやすいページを作りたい マイドメインを取ろう ▶▶ P.200

ホームページを作っている人ならだれでも「自分の名前.com」というURLを持ちたいものだ。マイドメインの取得は個人でも簡単にできるようになってきた。究極の夢をかなえる方法を紹介しよう。

ホームページをグレードアップするための環境を整える

ホームページで何ができるかは、プロバイダーによって変わる。ホームページの容量が少ないプロバイダーだと、コンテンツが増えていくとたちまちアップロードができなくなってしまう。現在の標準的な容量は初期状態で10Mバイトなので、たいいていの人はいこれで十分だろうが、10Mバイトより少ないプロバイダーのユーザーは追加料金を払って容量を増やすことも検討しよう。

容量のほかにプロバイダーのサービスでチェックすることは、ユーザーが自分で用意したCGIが使えるかどうかだ。この特集で紹介している掲示板やアクセス解析は、ユーザー

CGIが利用できないと使えない。会員数の多いプロバイダーでユーザーCGIが使えるところには、@nifty、BIGLOBE、ぶらら、Panasonic Hi-HOがある。こうしたプロバイダーには1か月1,000円以下のコースがあるのでホームページ専用のセカンドプロバイダーとして使うのもいいだろう。

この4つのプロバイダーの中で一番おすすめなのはぶららだ。1か月800円のプレミアムセットでCGIとSSIが利用可能な5Mバイトのホームページとメールアカウントが手に入る。自分でCGIを用意するのが面倒なら、アクセスカウンターや掲示板、投票フォーム

やアクセス解析などの豊富に用意されたぶらら提供CGIを使えばいい。

さらに本格的にホームページを運営したいという人は、月2,000円から5,000円程度で使える個人向けのホスティングサービスの利用も考えよう。容量は20Mバイトから50MバイトでCGIやSSIが自由に使えるところが多い。プロバイダーのホームページでCGIが使えなかったり、容量が足りなかったりする人にはおすすめだ。独自ドメインを自分のホームページに付けることもできる。ホスティングサービスに関しては、200ページからの記事を参考にしてほしい。

グレードアップ

1

アイコン付きの掲示板で インタラクティブなページを作ろう

ホームページのグレードアップの第1弾として、自分のホームページに掲示板を設置してみよう。HTMLだけのホームページなら一方通行の情報発信にすぎないが、掲示板を作れば、ホームページの制作者と訪問者との間にコミュニケーションが生まれる。それでは、CGIを使ったウェブ掲示板の作成方法を順を追って紹介していこう。

掲示板を作るには



Tea Cup
www.tcup.com

自分の掲示板を作るには、どのような方法があるだろうか。

まず考えられるのは、Tea Cup **NJump** などの「レンタル掲示板」を利用する方法だ。ウェブ上で簡単な申し込み手続きを行うだけで、即座に自分の掲示板を無料で作成できる。

2番目の方法としてはプロバイダーの提供する掲示板を利用する手がある。

しかし、どちらの方法をとるにせよ、それなりに運営上の制限があり、また掲示板を自分なりに改造したくても、それは無理な話だ。

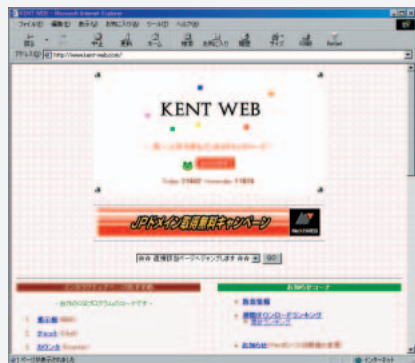
掲示板を作るベストな方法は、無料で入手できるCGIスクリプトを使って、自分のホームページ内に設置することに尽きる。前記の方法に比べて難しさはあるが、自由にカスタマイズできるし、また開設できたときの喜びも大きい。

今一番人気はKENT WEB

KENT WEB **NJump** は掲示板などのCGIスクリプトを公開して配布しているホームページだ。掲示板のほか、チャット、カウンターなどのCGIスクリプトをおもに無料でダウンロードできる。ダウンロードできるCGIスクリプトとしては、次のものがある。

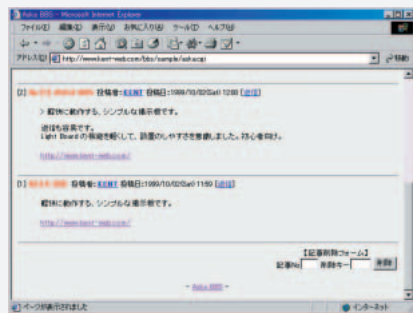
- ① 掲示板 11種
- ② チャット 5種
- ③ カウンター 5種
- ④ パスワード制限付き掲示板 3種
- ⑤ データ収集、検索関連 3種
- ⑥ ゲーム関連 2種

また、CGIを設置するうえでの質問を受け付けるサポート掲示板やFAQコーナーも用意されているので初めての人でも安心だ。

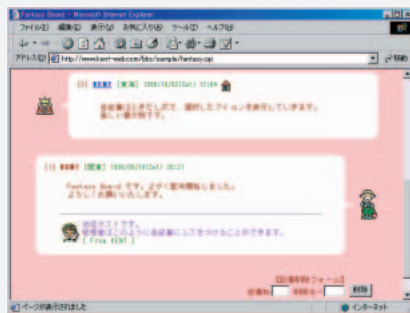


KENT WEB
www.kent-web.com

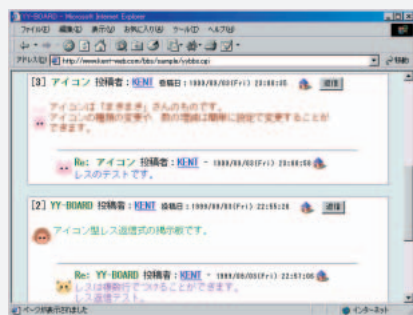
自分に合った掲示板を選ぼう



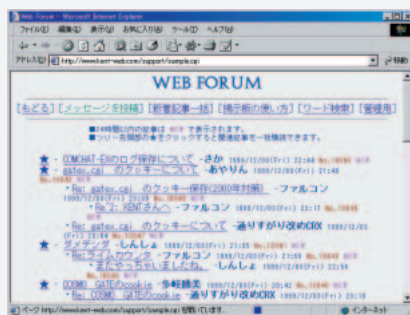
ASKA BBS
www.kent-web.com/bbs/aska.html



Fantasy Board
www.kent-web.com/bbs/fantasy.html



YY-BOARD
www.kent-web.com/bbs/yybbs.html



Web Forum
www.kent-web.com/bbs/wforum.html

KENT WEB で公開されている掲示板には、ゲストブック的なもの、アイコンを使用したもの、返信機能付きのものなど、多種多様なものがそろっている。

たとえば「ASKA BBS」は設置のしやすさを意識した、シンプルで飽きのこない掲示板で、初心者向け。「Fantasy Board」はコメントを「ふきだし」形式にしたアイコン付きの掲示板だ。管理人は各記事に返信を付けられる。「YY-BOARD」はアイコンと返信機能が使える掲示板。「Web Forum」はツリー表示式の掲示板で、ワード検索、過去ログ、ログ編集など、多機能がウリだ。

中でもYY-BOARDは、現在KENT WEBでもっとも人気があるCGIスクリプトで、98年9月の公開以来すでに50000本以上がダウンロードされている。アイコンを使用したことで全体的に柔らかな雰囲気生まれ、返信を簡単に付けられることが人気の要因のようだ。

今回はこのYY-BOARDを取り上げ、設置方法を紹介することにしよう。

掲示板を設置するときのチェックポイント

CGI掲示板を自分のホームページに設置する場合に注意する点がある。第一にユーザーが自分でスクリプトを設置できる「ユーザーCGI」にプロバイダーが対応していることを確認しよう。プロバイダーによっては、用意されたCGIしか設置できないところも少なくない。ユーザーが自分でCGIを設置してよいかどうかを確認する必要がある。たとえば@niftyやBIGLOBE、ぶらら、Panasonic Hi-HOなどではこうしたユーザーCGIが認められている。

CGIを使うときの注意点

- ① プロバイダーのCGIサポートをチェック
まずプロバイダーがユーザーCGIに対応しているか確認する。プロバイダーによっては規定のCGIしか設置できないところも少なくない。
- ② CGIの設置場所をチェック
CGIスクリプトを置くディレクトリはどこかをチェックする。どこに置いてもいいというプロバイダーと、「cgi-bin」ディレクトリなどに限定されているプロバイダーがある。
- ③ Perlのパスをチェック
スクリプトファイルの1行目で指定するPerlのパス（「/usr/local/bin/perl」のように示される）を確認する。CGIが使えるプロバイダーなら、ホームページ作成について説明しているページに記述があるはずだ。
- ④ .htaccessをチェック
「.htaccess」ファイルという特殊な設定が必要かどうかを確認する。@niftyやBIGLOBE、ぶらら、Hi-HOなどでは.htaccessは必要ない。

第二に、CGIスクリプトを置くサーバー上のディレクトリ（フォルダー）はどこかをチェックする必要がある。ホームページ用のディレクトリ内ならどこに置いても構わないというところもあれば、CGIは「cgi-bin」のような決まったディレクトリにしか置けないところもある。前者の代表はBIGLOBEであり、後者は@niftyやHi-HOが該当する。また、ぶららではCGIスクリプトをアップロードするFTPサーバーが普通のFTPサーバーとは別に用意されている。

第三に、CGIを動かすPerlとその場所を確認する必要がある。KENT WEBで配布するCGIスクリプトはすべてPerl用に書かれている。CGIが使えるプロバイダーではたいていPerlがサポートされており、プロバイダーがユーザーCGIについて説明しているページで「Perlのパス」と書かれているものチェックしよう。

そして第四に「.htaccess」ファイルという特殊な設定があるかどうかを確認する必要がある。@niftyやBIGLOBE、ぶらら、Hi-HOなどでは.htaccessは必要ない。

YY-BOARDとアイコンをダウンロード

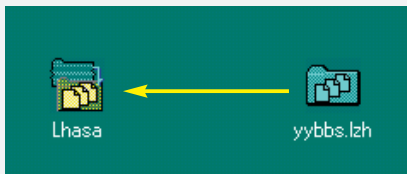
ではまずCGIスクリプトをダウンロードしよう。ファイルはYY-BOARDのページから入手できる。ファイルのダウンロードと解凍の方法は右図の説明を参考にしてほしい。

同じページからアイコンファイルもダウンロードしよう。YY-BOARDでは同ページで配布している「まきまき」さんのアイコンを推奨し、初期設定もそれに合わせているため、以降の解説は「まきまき」さんのものを使うということを進める。ただし「まきまき」さんのアイコンを使用するには「登録」が必要だ。詳細規定を含めたアイコンの使用規定を確認のうえ必ず登録を行ってほしい。

Jump01 www.kent-web.com/bbs/yybbs.html

Jump02 village.infoweb.ne.jp/~fwhf2602/yy.htm

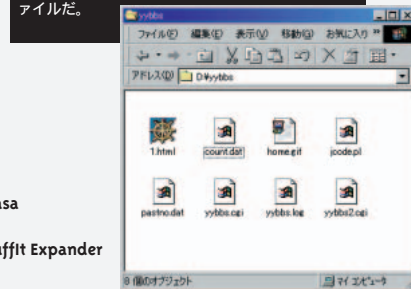
1 圧縮ファイルはLHA形式とZIP形式の2種類が用意されているので、一般的にはウィンドウズユーザーならLHA形式を、マッキントッシュユーザーならZIP形式を選ぶとよいだろう。



2 Lhasa (ウィンドウズ用)、Stuffit Expander (マック用) などの解凍ソフトを利用するとよい。どちらも、ソフトウェアアイコンに圧縮ファイルをドラッグアンドドロップするだけで解凍できる。

3 書庫ファイルを解凍すると、yybbs.cgi、yybbs.log、count.dat、jcode.pl、home.gif、yybbs2.cgi、pastno.dat、1.htmlの8つのファイルが展開される。yybbs2.cgi以下の3つのファイルは過去ログを生成するのに必要なファイルだ。

- Lhasa**
- CD-ROM収録先 (A) Win Lhasa
 - Stuffit Expander
 - CD-ROM収録先 (A) Mac Stuffit Expander



スクリプトを自分に合わせて書き換える

次に展開されたファイルを編集する。これはプロバイダーの環境に合わせるためと、自分なりにカスタマイズするためという2通りの目的がある。

ファイルを編集するためには「テキストエディター」が必要となる。ウィンドウズユーザーは、ウィンドウズに標準で付属されている「メモ帳」や「ワードパッド」でよい。

KENT WEBで配布するCGIスクリプトは改行コードをウィンドウズ形式 (CR+LF) で記述しているため、マッキントッシュユーザーはJeditなどの専用エディターを使用することをおすすめする。

エディターの準備ができたなら、yybbs.cgiをエディターで開いて右のリストに挙げた部分を修正して上書き保存する (主な箇所のみ)。

\$backgif、\$homepage、\$icon_dirなどの箇所ではHTMLファイルや画像ファイルのURLを記述する。@niftyやHi-HOなど、CGIのディレクトリーが決まっているプロバイダーの場合は相対パスで記入するとややこしくなるので、「http://」からの絶対パスで記述することをおすすめする。これらのファイルのURL指定が誤っていると掲示板のCGIが正しく動作しないからだ。

Jedit

- CD-ROM収録先 (A) Mac Jedit

yybbs.cgi

`#!/usr/local/bin/perl`

この行はもっとも重要な箇所だ。ここはプロバイダーで定められたPerlのパスを指定する。ちなみに、@nifty、BIGLOBE、ばらら、Hi-HOなどは上記のままでOKだ (修正は必要ない)。

`$title = "YY-BOARD";`
ここでは掲示板のタイトルを指定する。

`$backgif = "";`
掲示板に壁紙を指定したいとき、画像のURLを指定する。ちなみに、壁紙を指定しない場合にはそのままOKだ。

`$homepage = "../index.html";`
掲示板からの戻り先のURLを指定する。上記の初期値では相対パスで1つ上のディレクトリーのindex.htmlファイルを指定しているが、@niftyなどCGIファイルの置き場所が定められている場合はhttp://からの絶対パスで記述したほうが無難だろう。
例: (@niftyの場合)

`$homepage = "http://homepage?.nifty.com/ユーザー名/index.html";`

`$max = 50;`
親記事の最大記事数を指定する。これを超える記事は古い順に自動で削除されていく。

`$pass = '0123';`
管理用パスワード。半角の英数字で適当なパスワードを指定する。

`$icon_dir = ".";`
アイコン画像のあるURL。yybbs.cgiと別ディレクトリーとなる場合は、http://から記述する。

`$get_remotehost = 0;`
投稿者のホスト名の取得の仕方。BIGLOBEなどでは「1」に変更しないと取得できない。@niftyでは「1」にしてもIPアドレスしか取得できない。

`$lockkey = 0;`
ファイルロック機能。これは同時に2つ以上のアクセスが重なるとログファイルが破損してしまふことへの対策だ。基本的には「2」に変更する。プロバイダーのホームページなどでsymlink関数が使えることが明記されている場合は「1」とする。@niftyはsymlink関数が使えるので「1」。

アップロードは要注意

ファイルの修正が終わったらFTPソフトを使って各ファイルをサーバーにアップロードする。FTPソフトはウィンドウズ用ではFFFTP、マック用ではFetch-Jが有名だ。ともに本誌付録CD-ROMに収録されている。

ファイルを転送する前に全体のディレクトリ構成とファイルを置く場所を理解しておく必要がある。これはプロバイダーによって規定があるのでCGIの設置規定のページをよく読んで理解しておこう。@niftyやHi-HOでは、CGIの各ファイルとアイコンのGIFファイルは異なる場所に置くので注意してほしい。ちなみにBIGLOBEとぷららでは、アイコンファイルをアップロードする場所は、ほかのファイルと同じディレクトリでOKだ。

それでは各ファイルを転送しよう。ここでは代表的なFTPソフトであるFFFTPとFetch-Jを例にとって説明していこう。

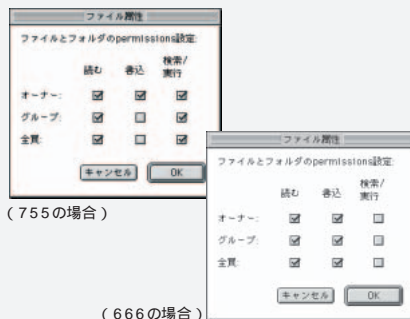
yybbs.cgi、yybbs.log、count.dat、jcode.plの各ファイルは「アスキー（テキスト）モード」で、home.gifなどのアイコン画像はすべて「バイナリーモード」で転送するのだが、FFFTP、Fetch-Jともにモードの自動切り替えをサポートしているので、ユーザーは特に気にする必要はない。

ファイルの転送がすんだら、各ファイルに

「パーミッション」を設定する。yybbs.cgiのパーミッションをFFFTPで設定するには、リモート側のファイルを右クリック「属性変更」とする。「属性の変更」という設定画面が現れるので、「現在の属性」のところに入力して「755」と入れ、OKボタンをクリックする。すると対象ファイルのパーミッションの設定が755に変更される。同様に、yybbs.logとcount.datは「666」にパーミッション設定を変更する。

Fetch-Jの場合は、ファイルを選んで「リモート」メニュー「Permissionの設定」をクリックし、下図で属性が「755」のファイルでは「検索/実行」をすべてチェックし、「666」のファイルでは「書込」をすべてチェックする。

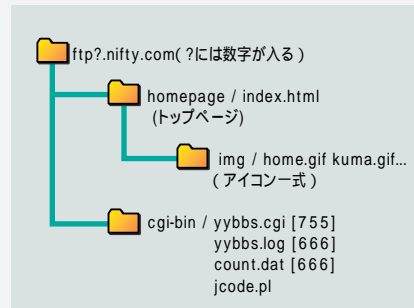
Fetch-Jのパーミッション設定画面



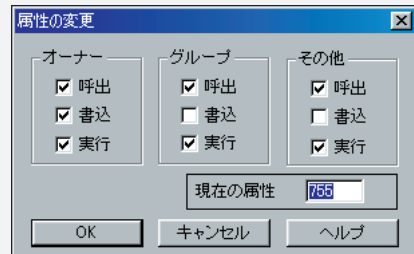
(755の場合)

(666の場合)

@niftyでのファイルの配置



FFFTPのパーミッション設定画面



FFFTP

CD-ROM収録先 (A) Win Fftp

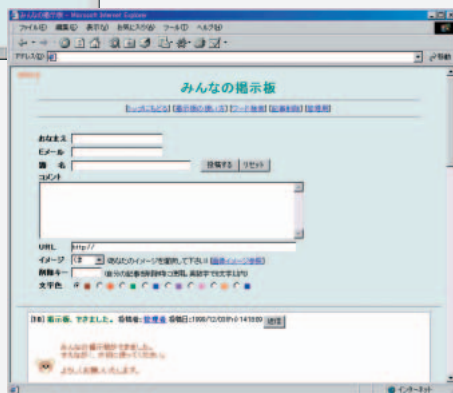
Fetch-J

CD-ROM収録先 (A) Mac Fetch-J



YY-BOARDのコメント削除画面

完成した「みんなの掲示板」



掲示板を公開しよう

さて、いよいよ掲示板の公開だ。掲示板にトップページなど（HTMLファイル）からリンクを張る場合は以下のように記述する。

みんなの掲示板
(?の部分には数字が入る。@niftyの場合)

掲示板の運営にあたっては、今日からあなたが責任者であり、ウェブ管理者だ。掲示板の運営に関しては絶対的な権限を持つことを認識しよう。

管理者はすべての投稿者の「ホスト名」を知る権利があり、そしてすべての投稿記事を「削除」する権利を持つ。具体的には、タイトル部の下の「管理用」というリンクをクリックし、管理パスワードを入力して管理モードに入る。この画面で投稿者のホスト名を知り、記事の削除を行う。

ログファイル(yybbs.log)はマメにバックアップを取るようしよう。同時アクセスやサーバー障害によるファイル破損など、不測の事態に備えるべきだ。バックアップはできれば1日1回は行いたいところだ。

グレードアップ

2

自由にデザインできる 掲示板を作るソフト

掲示板を作ってはみたものの、思うように書き込みをしてもらえないという悩みを持っている人は意外に多い。最近はウェブ掲示板の数も増えているため、できあいのCGIを使った掲示板は、どこも同じ印象になりがちだ。ライバルに差をつけるために、個性的なオリジナルデザインの掲示板を作ってはいかがだろうか。

apeboardはこんな掲示板



初期設定の状態のapeboard

インターネットで配布されているCGI掲示板のデザインを変更したい場合、Perlで書かれたものが大部分であるため、書き換えにはプログラミングの要素が必要になる。このため初心者にとって掲示板のデザイン変更は事実上不可能だと言えるだろう。

その壁を取り除き、簡単に自分の好きなデザインにカスタマイズできる掲示板、それが「apeboard」だ。apeboardは、見映えの部分をHTMLファイルとして独立させているため、ホームページを作る感覚で掲示板のデザインを変えることができる。HTMLファイルを編集するだけで、だれでも簡単にオリジナル掲示板が作成できてしまうのだ。

apeboardをダウンロード

それではまず、apeboard本体をダウンロードしよう。「2apes.com」から入手できる。EUC版とシフトJIS版の2種類あるが、今回はシフトJIS版のapbd_sjs.lzhを使用することにする。

apeskin_SJSフォルダーには掲示板で使われる画像やHTMLファイル(header.html、main.html、footer2.htmlなど)が入っており、これらのファイルを変更すれば掲示板のデザインを変えられる。

[Jump www.2apes.com](http://www.2apes.com)



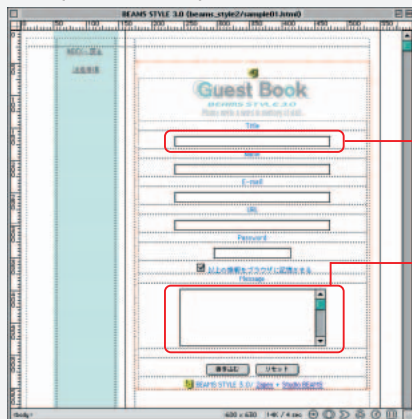
2apes.comで「Products」「apeboard Download」からダウンロードする

apeboard本体(apbd_sjs.lzh)に含まれるファイルとフォルダーの一覧

ファイル/フォルダー	説明
apeboard.cgi	掲示板本体。書き込み、閲覧などの基本CGI
boardini.cgi	掲示板をカスタマイズするための設定ファイル
apeboard.dat	書き込まれた発言を保存するログファイル
apeboard_mt.cgi	発言削除、コメントの付加を行う管理者用CGI
apeskin_SJSフォルダー	掲示板で使用される画像やHTMLが入っているフォルダー
skinini.cgi	見映えを変更するapeskin用設定ファイル
jcode.pl	日本語コード変換ライブラリー
manualフォルダー	HTML形式のapeboardマニュアル式

掲示板をデザインしよう

上段 (header.html)



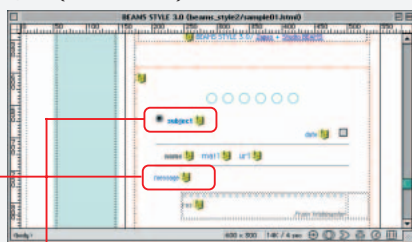
項目	name属性名
題名	<input type="text" name="subject">
名前	<input type="text" name="name">
E-mail	<input type="text" name="mail">
URL	<input type="text" name="url">
パスワード	<input type="password" name="pwd">
メッセージ	<textarea name="message">

(例1) 題名 <input type="text" name="subject">

(例2) メッセージ <textarea name="message">

入力用フォームは、下記のように開始する。
 <form method="post" action="/apeboard.cgi" name="header">
 <input type="hidden" name="command" value="write">
 上の表のようなname属性がある<input>タグや<textarea>タグが必要だ。

中段 (main.html)

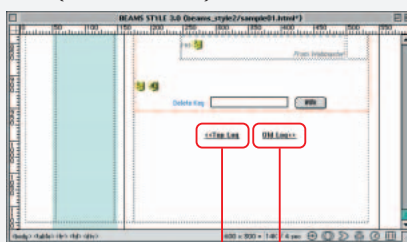


(例3) 題名 subject<!--s-->

(例4) メッセージ message<!--s-->

HTML内に決まった文字列を記述すると、apeboard.cgiが実際の発言のものに置き換える。

下段 (footer2.html)



Backボタンは「TOP」、Nextボタンは「BACK」という文字列をリンク先にする。footer2.htmlからNextボタンを削除すればfooter1.htmlができる。

2apes.comでもユーザーが作ったHTMLデザインファイル(「apeskin」)が公開されているが、今回は「Studio BEAMS」(Jump)から配布中の「BEAMS STYLE 3.0」を例に、自分でデザインする方法を説明する。

まず掲示板全体をレイアウトしたHTMLファイル(apeskin_SJSフォルダーの下のsample.html)を編集する。あとで上段、中段、下段の3つの部分に分けるのだが、最初に1ファイルで作ったほうが、編集が容易でレイアウトをイメージどおりに作成できるので都合がいい。

上段には投稿用のフォームが必要だ。編集するときは<form>タグと<input>タグ内のname属性は変えてはいいが、次に中段の発言表示の部分を作る。「subject<!--s-->」といった文字列を書いておけば、ページを表示するときに実際の発言のものに置き換わる。最後に下段を作成し、パスワード入力欄、とを記述する。デザインができれば上段(header.html)中段(main.html)、下段(footer1.htmlとfooter2.html)に分割する。

なお、@niftyやHi-HOでは「cgi-bin」ディレクトリーに置いた画像はブラウザから読めないため、画像は別のディレクトリーに置いてURLを「http://~」から指定する。

Jump web.macintosh.to/~beams/

アップロードして公開しよう

それでは実際にアップロードしてみよう。アップロードの前にapeboard.cgi、apeboard_mt.cgi、boardini.cgi、skinini.cgiの各ファイルをテキストエディターで開き、設定箇所(管理用パスワードや各ファイルのURL)を書き換える。右にskinini.cgiの例を挙げたので参考にしてほしい。

また、boardini.cgiをカスタマイズすることにより、掲示板のさまざまな機能が設定できるので、自分好みに書き換えてほしい。

BIGLOBE やぶららでは、同じディレクトリーにすべてのファイルをアップロードすればよい。@niftyやHi-HOでは右の一覧にあるファイルを「cgi-bin」ディレクトリーに、それ以外の画像ファイルなどはHTMLファイル用のディレクトリーに置く。なお、187ページを参考に各ファイルのパーミッションを変更するのも忘れてほしい。

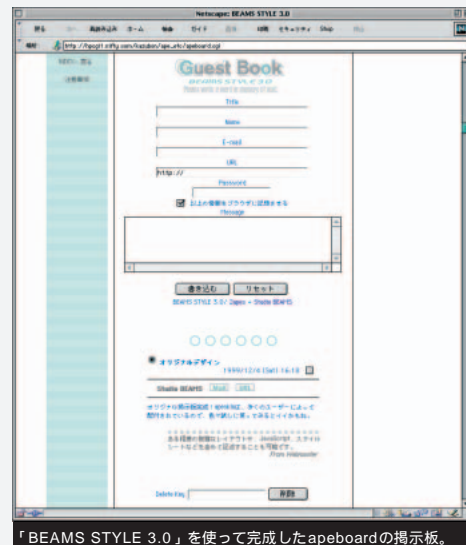
```

$mail_image01 = '';
$mail_image02 = '';
$url_image01 = '';
$url_image02 = '';
    
```

メールアドレスとURLの表示を自分で用意した画像にリンクさせる場合、赤字の部分に合わせて変更する。なお、@niftyやHi-HOでは緑字の部分は「http://~」から始まるURLで記述する。

各ファイルのパーミッション設定

ファイル名	パーミッション
apeboard.cgi、apeboard_mt.cgi	
boardini.cgi、skinini.cgi	755
apeboard.dat	666
jcode.pl、header.html、main.html	
footer1.html、footer2.html	644



「BEAMS STYLE 3.0」を使って完成したapeboardの掲示板。

グレードアップ

3

アクセス解析で ホームページをパワーアップ

本格的にホームページを運営していくには、訪問者がどのページをどのように見ているかを分析するアクセス解析が欠かせない。どこからリンクされているかを調べたり、ページごとの人気度を計ったりすれば、ページ作りが効率よく行える。アクセスカウンターではできないアクセス解析の機能を使ってホームページをパワーアップしよう。

アクセス解析でわかるもの

ブラウザは、ウェブページを読むときにさまざまな情報をサーバーに送っている。ブラウザの種類、ホスト名（インターネット上のマシン名）、どのページからジャンプしてきたかなど、こうした情報を保存して、それを参考にしながら訪問者の傾向を考えてページを作成すれば、アクセス数アップの役に立つ。また、単純にアクセス状況を眺めて楽しむのもいいだろう。ただし、アクセス情報を保存するには、ホームページでCGIが使えるプロバイダーに入会している必要

がある。184ページからの掲示板の作成を参考にしてほしい。CGIが使えない人は、199ページの記事を参照してほしい。

アクセスされた時間

昼間が多ければ、会社や学校からのアクセスが多く、夜間が多ければ自宅からのアクセスが多いことがわかる。

ホスト名

ホスト名の中のドメイン名を見れば、どのプロバイダーや会社からアクセスされているか、どの国の人が来ているかがわかる

ブラウザ名

どのブラウザを使っている人が多いか、どのOSのユーザーのアクセスが多いかがわかる。

ページの参照元

訪問者がどのページにあるリンクをクリックしてやって来たかわかる。つまり、どのページからリンクされているかがわかる。

Access Reportをダウンロード

CGIでアクセス解析を行うには、184ページで紹介したKENT WEBから「Access Report」をダウンロードするのが手取り早い。ファイルを解凍すると2つのCGIスクリプトが出てくる。「report.cgi」はアクセス情報を保存するスクリプトで、「replist.cgi」はアクセス解析の結果を表示するスクリプトだ。

ファイルの先頭にある「Perlのパス」をチェックするのは掲示板と同じ。それ以外では、「report.cgi」では「リンク元除外ページ」と「ホスト名取得モード」を、「replist.cgi」では「グラフ画像」を修正しよう。ファイルの解凍や編集の方法などは186ページを参照してほしい

 www.kent-web.com/data/report.html

report.cgi

```
@myurl = (
    'http://www.xxx.yyy/ foo/',
    );
リンク元除外ページを並べる。たとえば、下位のページから戻った場合をカウントしたくなければ、
「http://homepage1.nifty.com/ユーザー名/」のようにホームページのURLを入れる。
$lockkey = 0;
ファイルロック機能。186ページ参照。
$get_remotehost = 0;
たいいていのプロバイダーでは、0を1に変えないとホスト名が取得できない。
```

replist.cgi

```
$graph1 = "./graph1.gif";
$graph2 = "./graph2.gif";
グラフ画像のURL。@niftyのようにCGIと同じ場所にある画像を読めない場合は、別のフォルダーに画像を保存して、「http://homepage1.nifty.com/img/graph1.gif」のように「http://～」から指定する。
```

アクセス解析を使ってみよう

ファイルの編集が終わったら、ファイルをアップロードしよう。たいいていのプロバイダーでは6つのファイルをすべて同じディレクトリーに置けばいいが、@niftyやHi-HOでは2つのGIFファイルをHTML用の場所に置く。パーミッション(属性)の設定は、掲示板の場合と同じくCGIファイルを「755」に、データファイル(report.log)を「666」に設定する。

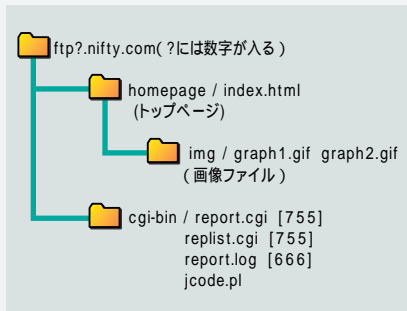
Access Reportを動かすには、アクセスの解析をしたいページ(たとえばトップページのindex.html)のHTMLにCGIを呼び出すJavaScriptを下のように埋め込む。タグの「SRC=」にはreport.cgiを参照できるように「http://～」で始まるURLを指定する。

準備ができたなら、JavaScriptを書き込んだページを一度表示させてみてから、「http://hpcgi?.nifty.com/ユーザー名/replist.cgi」のようにブラウザのURL入力

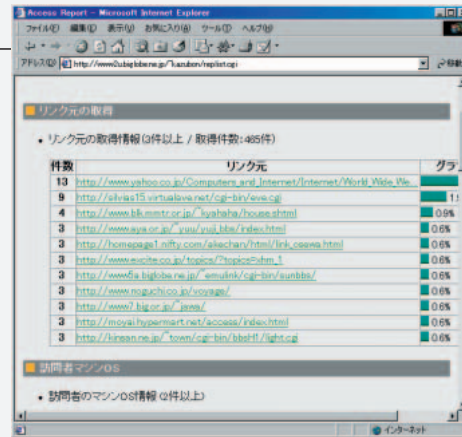
HTMLに埋め込むスクリプト (@niftyの場合)

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
<!--
document.write("<IMG SRC=http://hpcgi1.nifty.com/ユーザー名/report.cgi?");
document.write(document.referrer+' ' width=1 height=1>");
//-->
</SCRIPT>
```

@niftyでのファイルの配置



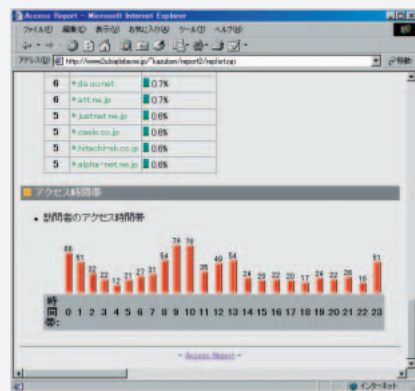
欄でreplist.cgiのURLを直接入力してみよう。アクセス解析の結果が表示されるはずだ。「リンク元の取得」や「訪問者マシンOS」、「ブラウザ」、「ホスト名」、「アクセス時間帯」がグラフになって表示される。ただし、@niftyでは訪問者のホスト名情報は取得できず、代わりにIPアドレスが表示される。



「リンク元の取得」を見れば、どのページからリンクが張られていて、そのうちどこからジャンプしてくる人が多いのかがわかる。



訪問者のブラウザ 情報とホスト名情報。ブラウザはIE 5が、プロバイダーはODNが多いことがわかる。



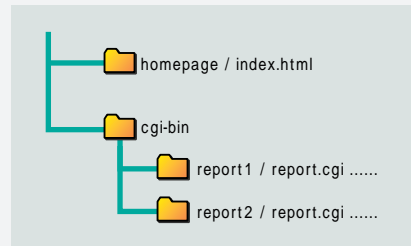
アクセス時間帯の情報。午後11時から午前1時までと午前9時から10時までの間にアクセスが集中している。

さらに進んだ使い方

ここまでの例では、1つのページのアクセス情報しか保存できない。複数のページでアクセス解析を行ってページの人気度を比較するには、Access Reportを複数設置すればいい。「report1」、「report2」……のようにサーバー上にディレクトリーを作ってそれぞれの中に必要なファイルをすべてアップロードする。アクセスを解析したいページに埋め込むJavaScriptでは、タグのSRC属性でそれぞれ別の場所に置かれたCGIのURLを指定する。

ただし、CGIスクリプトを置きすぎるのは考えものだ。アクセスの集中する人気ページになると、ページを表示させるたびにCGIスクリプトが起動して動作の重いサイトになってしまうし、アクセス情報のデータファイルでホームページの残り容量が足りなくなる。2つが3つ程度にしておいたほうがいいだろう。

アクセス解析を2つ置いた例



```
1 番目のコンテンツのHTML
:
document.write( " <IMG SRC= ' http://~
/report1/report.cgi? " );
:

2 番目のコンテンツのHTML
:
document.write( " <IMG SRC= ' http://~
/report2/report.cgi? " );
:
```

「あなたの
遊べるページを作るついでに
度チェック」で

もう少しホームページに遊びの要素がほしいと思っても、CGIが使えないからといってあきらめてはいないだろうか。たとえCGIが使えなくても、JavaScriptならHTMLファイルの中に記述するだけなので、どんなプロバイダーでも大丈夫だ。だれでも簡単に設置できて、見に来てくれた人をあっと驚かせるJavaScriptを紹介しよう。

訪問者が遊べるページを作ろう

自分のホームページを充実させたいと思っている人は、見に来てくれた人のためにちょっとした遊べる仕掛けを作ってみるのはどうだろうか。とはいえ、自分のプロバイダーはCGIに対応していないという人も多いだろう。そこで、ここではJavaScriptを使ったテクニックを紹介する。だれでも設置できて、改造も簡単だ。

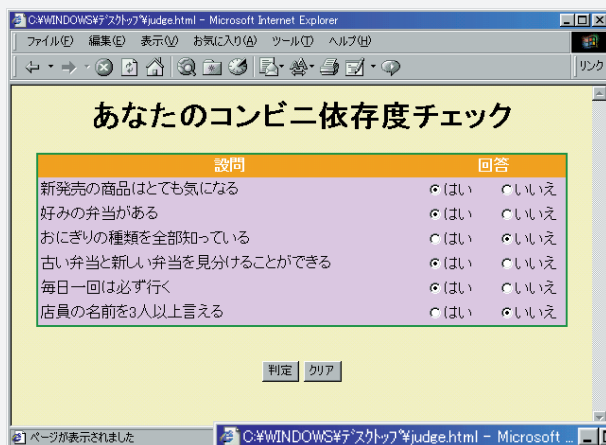
今回は、「あなたの 度チェック」と、おみくじを表示するスクリプトを紹介する。どちらもJavaScriptなのでだれでも設置できるし、これを改造すれば性格診断や占いなどにも応用可能だ。自分のページが堅苦しいと感じている人は、ぜひこのページのスクリプトを試してみてもらいたい。

ソース収録先
 CD-ROM収録先 (A) Special Script

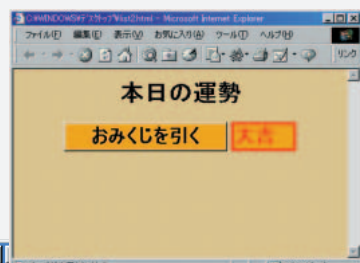
「あなたの 度チェック」を作る

ウェブを見て回っているとよく見かけるページがある。それは「性格診断」や「あなたの度を判定します」といったような、訪問者が入力した値によって異なった結果を表示するコンテンツだ。このような仕掛けを自分のホームページでも使ってみたいと思っている人は多いだろう。実際に筆者のところにも「どうやって作るの?」といった質問が頻りに送られてくる。そこでまず、訪問者の度を判定する

ページの作り方を解説する。次ページのスクリプトが、サンプルページのソースだ。ソースを見てもわかるとおり<HTML>で始まり</HTML>で終わっている。基本的にはこのサンプルのまま動くので安心してほしい。しかしタイトル(判定する題材)や設問、判定結果のコメントをカスタマイズしたい人も多いだろう。そこで、さらにこの点について詳しく解説していこう。



あなたの 度チェック



おみくじスクリプト

あなたのコンビニ依存度は67%です。
 作者からのコメント
 かなりコンビニを極めてますね。

スク립トをカスタマイズしてみよう

まずはタイトルを変える場合の設定から紹介しよう。①の部分を書き換えると、タイトルと結果の「度」を変更できる。

質問の数を変えるには、②の部分を変更する。7項目にしたい場合は、単純に6を7に変えればよい。

各質問の内容が③の部分になる。質問の数を増やした場合には、この部分のうしろに「Question[6]="~";」のように追加する。番号は0から始まっているので、最後の番号は「質問数-1」になることに注意。

判定結果に対するコメントが④の部分だ。質問を増やしたときは、コメントも「Comment[7]="~";」のように増やした数だけ追加していく。質問の数よりコメントの数が1個多くなることに注意。「Comment[数字]」の数字は、「はい」の数に対応しているので、その内容は「度」が低い人から高い人に対するものが順番に並ぶようにする。

1つのコメントが長すぎると、判定結果のウィンドウに収まりきらなくなる。ウィンドウの大きさを変更するには、⑤のwidth(横幅)とheight(縦幅)の値を変更すればよい。ネットスケープナビゲーターとインターネットエクスプローラでは開かれるウィンドウサイズが微妙に違うので、少し大きめの数値を設定しておいたほうが安全だ。

```

judge.html
<HTML>
<HEAD>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
var ttl = "コンビニ依存度"; ①
var len = 6; ②
var Question = new Array(len-1); ③
Question[0] = "新発売の商品はとても気になる";
Question[1] = "好みの弁当がある";
Question[2] = "おにぎりの種類を全部知っている";
Question[3] = "古い弁当と新しい弁当を見分けられる";
Question[4] = "毎日一回は必ず行く";
Question[5] = "店員の名前を3人以上言える";
var Comment = new Array(len); ④
Comment[0] = "安心していいみたいですよ。";
Comment[1] = "一般人レベルです";
Comment[2] = "ちょっとヤバイかも?";
Comment[3] = "コンビニ通ですね。";
Comment[4] = "かなりコンビニを極めてますね。";
Comment[5] = "コンビニ無しでは生きていけませんね。";
Comment[6] = "店員になりましょう。";
var ansVal = new Array(len-1);
function check(val,n) { ansVal[n] = val.value; }
function ans() {
var point = 0; var flag = 0;
for ( var i=0; i<len; i++) {
if (typeof(ansVal[i]) == "undefined") { flag = 1; }
else { point += parseInt(ansVal[i]); }
}
}
if (flag == 0) {
var percent = Math.round(point * (100/len));
var ansWin = window.open("", "", "width=300, ⑤
height=150");
with(ansWin.document) {
open();
write("<HTML><BODY BGCOLOR='white'>");
write("<CENTER><FONT SIZE='+1'>あなたの",ttl,"
は");
write("<B>",percent,"%</B>です。
</FONT></CENTER>");
write("<DL><DT>作者からのコメント<BR><BR>";
write("<DD>",Comment[point],"</DL>");
write("</BODY></HTML>");
close();
}
}
else { alert("チェックされてない項目があります。"); }
}
</SCRIPT>
</HEAD>
<BODY>
(中略)
</BODY>
</HTML>

```

アイデアしだいでこんなことも

```

tell.html
<HTML>
<HEAD>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
var ttl = "本日の運勢"; ①
var len = 6; ②
var result = new Array(len-1); ③
result[0] = "大吉"; result[1] = "中吉";
result[2] = "小吉"; result[3] = "末吉";
result[4] = "凶"; result[5] = "大凶";
function tell() {
var num = Math.floor(Math.random()*len);
document.field.box.value = result[num];
}
</SCRIPT>
</HEAD>
<BODY BGCOLOR="white">
<CENTER>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
document.write("<H1>",ttl,"</H1>");
</SCRIPT>
<FORM NAME="field">
<INPUT TYPE="button" VALUE="おみくじを引く"
onClick="tell()">
<INPUT TYPE="text" NAME="box" SIZE="5">
</FORM>
</CENTER>
</BODY>
</HTML>

```

先に紹介したサンプルは、フォームの入力によって結果を変化させるのでソースが少し長くなっているが、ユーザーが入力する値が何もない場合はもっと簡単にできる。その例として「おみくじスクリプト」を紹介しよう。このサンプルは「おみくじを引く」ボタンをクリックすると、その右にあるテキストボックスにおみくじの結果を表示するものだ。

カスタマイズする場合には、①がタイトル、②がおみくじの種類の数、③がおみくじの内容なので、それぞれを変更すればよい。

前のスクリプトが長いと感じて気遅れしてしまった人は、まずはこちらのお手軽版からトライしてみるといいだろう。

グレードアップ

5

カスタマイズできるページで ポータルサイトを 目指そう

Yahoo!などのポータルサイトには、「My Yahoo!」のようにユーザーが「モジュール」(ページに表示させる部品)を選んでページの構成を好きなように組み立てる機能がある。自分のページでも、訪問者がコンテンツの表示をカスタマイズして、次に来たときにも同じ表示ができるようになれば、人気がぐっと高まること間違いなしだ。

クッキーを使うには

CGIを使わない限り、ブラウザはユーザーがページ上で何をしたかを保存できない。ただしクッキーを使えば、簡単なデータをパソコン上に保存しておいて、次にそのページを見たときにデータを取り出せるようになる。JavaScriptでクッキーを扱うと、ユーザーの設定に合わせてダイナミックに内容を変更するページが作成できる。

JavaScriptでクッキーを使うのは面倒なので、だれでも簡単にクッキーを扱えるようになるファイル(cookie.js)を付録CD-

ROMに収録した。次のようなタグをHTMLに埋め込めば、クッキーデータの読み込み、保存、消去が簡単にできるようになる。対応しているブラウザはインターネットエクスプローラのバージョン4以上と、ネットスケープナビゲーターのバージョン3以上だ。

cookie.jsの埋め込み

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript" SRC="cookie.js"></SCRIPT>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
s = readCookie("name"); // 「name」というデータの内容を読み込む
writeCookie("name", "kurazono"); // 「name」というデータの内容を
// 「kurazono」にして保存
clearCookie("name"); // 「name」というデータを消去
</SCRIPT>
```

ソースの収録先

CD-ROM A Special Custom

カスタマイズの設定画面を作る

ここではサンプルとして、インターネットマガジンの記事をモジュールとして訪問者が自由に選べるページを作ることにする。たとえば「HTML TIPS & TRICKS」を愛読している人な

ら、その月の内容が先頭に表示できるようなページだ。上記の収録先にあるindex.htmを見てほしい。まず、プルダウンメニューでユーザーが設定を行うインターフェイスを作る。ソースのようにモジュールの数だけ

<SELECT>タグを書き、それぞれの中にモジュールの数に「(なし)」を加えた<OPTION>タグを書く。また、設定を保存するボタンを作り、押したときにJavaScriptでクッキーを書き込むようにする。



設定画面のインターフェイス (index.htm)

```
モジュール1: <SELECT SIZE=1 NAME="mod1">
<OPTION VALUE="1">特集 <OPTION VALUE="2">集中企画
<OPTION VALUE="3">i-Biz Today <OPTION VALUE="4">PRODUCT SHOWCASE
<OPTION VALUE="5">HTML TIPS & TRICKS <OPTION VALUE="6">(なし)
</SELECT><BR>
(中略)
<INPUT TYPE="button" VALUE="設定"
onClick="for(i=0;i<num_max;i++)writeCookie('mod'+(i+1),this.form.elements[i].selectedIndex);
location.reload();">
```

モジュールを書いてみよう

このサンプルは、ちょっと手を加えるだけで同じ仕組みのページを簡単に作れるようになっている。前ページに掲載した設定画面のインターフェイスを編集したら、index.htmの最初のほうにある<SCRIPT>タグを見てみよう。これはcookies.jsの埋め込みと、クッキーデータの読み出しを行っている部分だ。「num_max = 5」となっている数字はモジュールの数だ。数字は自分のページに合わせて書き換えてほしい。index.htmの中ほどにある<SCRIPT>タグに注目。もう1つのjsファイルmodule.jsを呼び出している。モジュールの内容は設定した順番どおりにここに表示されることになる。

それではmodule.jsを自分のページ用に編集してモジュールを作ってみよう。「module[0][0] =」以下が表示される内容だ。モジュールの数はサンプルでは5なので、module[0]からmodule[4]までのブロックを作り、それぞれの

ブロックでmodule[0][0]からmodule[0][7]のようにモジュールの内容を「" ~ "」で囲った文字列で指定する。各モジュールの最後は必ず空(「"」)にする。「" ~ "」の中ではHTMLのタグを指定できるが、「"」は書けないので「'」に置き換える。

cookie.jsの埋め込みとデータの読み出し (index.htm)

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript" SRC="cookie.js"></SCRIPT>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
var num_max = 5; var num_mod = new Array();
for (i = 0; i < num_max; i++) num_mod[i] = i;
for (i = 0; i < num_max; i++) {
  s = readCookie("mod" + (i + 1)); if(s) num_mod[i] = Number(s);
  writeCookie("mod" + (i + 1), num_mod[i]);
}
</SCRIPT>
```

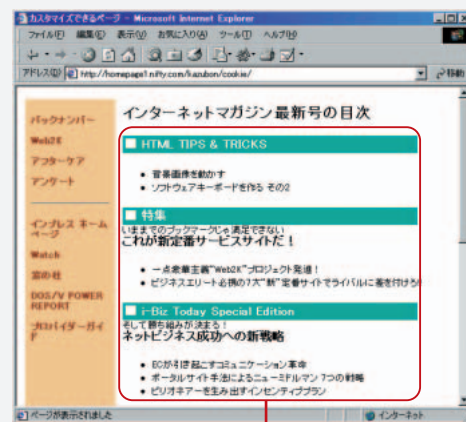
モジュールの内容が表示される部分 (index.htm)

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript" SRC="module.js"></SCRIPT>
```

表示するモジュールの記述 (module.js)

```
module[0][0] = "<TABLE WIDTH='400' BGCOLOR='#009999'><TR><TD>
<FONT COLOR=#FFFFFF><B> 特集</B></FONT></TD></TR></TABLE>";
module[0][1] = "<SMALL>いままでのブックマークじゃ満足できない</SMALL><BR>";
module[0][2] = "<B>これが新定番サービスサイトだ！</B><BR>";
module[0][3] = "<UL>";
module[0][4] = "<LI>一点豪華主義"Web2K"プロジェクト発進！";
module[0][5] = "<LI>ビジネスエリート必携の7大"新"定番サイトでライバルに差を付ける!!";
module[0][6] = "</UL>";
module[0][7] = "";

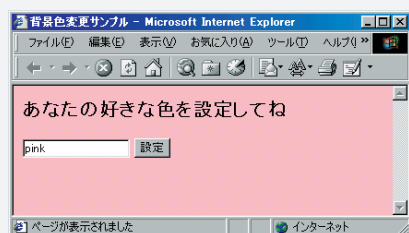
module[1][0] = "<TABLE WIDTH='400' BGCOLOR='#009999'><TR><TD>
<FONT COLOR=#FFFFFF><B> 集中企画</B></FONT></TD></TR></TABLE>";
module[1][1] = "<SMALL>時代はつなごうぜっばなし！</SMALL><BR>";
```



module.jsで表示している部分

工夫次第でこんなことも

ここで紹介したcookie.jsをページに埋め込む方法を覚えれば、さまざまな応用を考えてさらに高度なカスタマイズの工夫ができるだろう。たとえば次のようなJavaScriptを書けば、ユーザーが設定したページの背景色をクッキーに保存して、ページを開くたびに背景色を再現できるようにする。



クッキーを使った背景色の変更

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript" SRC="cookie.js"></SCRIPT>
<FORM NAME="form 1">
<INPUT NAME="bg" TYPE="text">
<INPUT TYPE="button" VALUE="設定"
onClick="writeCookie('bgcolor ' , this.form.bg.value);
document.bgColor = this.form.bg.value;">
</FORM>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
bgcolor = readCookie("bgcolor");
if(!bgcolor) bgcolor = "white";
writeCookie("bgcolor", bgcolor);
document.form 1.bg.value = bgcolor;
document.bgColor = bgcolor;
</SCRIPT>
```


グレードアップ

5

iモード対応にこころを ホームページを

インターネットマガジンが創刊された5年前は、ホームページの黎明期だった。まだすべてのページを見て回れるほどの数だったが、新しいページを見つけるたびにわくわくしたものだ。iモード対応ホームページの現状は、まさに5年前と同じだ。今から始めればあなたも先駆者だ。この特集を読んだら、すぐにトライしてみよう。

だれでも作れるiモードページ

NTTドコモのiモードは、1999年2月の発売以来すでに250万台を突破するほどの(1999年11月現在)大ヒット商品だ。競合サービスに圧勝した1つの理由は、個人が簡単に、勝手に情報発信できるという点にある。

iモード対応と言っても、今までのHTMLタグはほとんどそのまま流用できるので、普通の

ホームページを作ったことのある人にとっては、作成はそれほど難しくはない。もし、あなたがすでにホームページを持っているのなら、そのURLをiモードでも見てみよう。画面の制約で表示が崩れることはあるかもしれないが、表示される内容は見覚えのあるあなたのホームページのはずだ。

iモードページのここに注意

iモード対応のホームページを作るときには、「ダイヤルアップで見る人を意識し、軽いページを作る」意識がより一層必要だ。iモードの転送速度は9600bpsしかなく、ISDNや専用線を使っている感覚でページを構成してしまうと、とても見るに耐えない重いページになってしまうからだ。

また、iモード端末側で受信できるデータ量は5Kバイトまでという制限があることも覚えておこう。とくに画像ファイルはこの制限を受けやすいので、画像を使う場合には、減色してファイルサイズを極力小さくしよう。

もちろん、HTMLファイル自身もコンパクト

にしたほうがよい。HTMLを書くときに画面には表示されないタグを書く人も多いが、iモード用のページでは不必要な記述はなるべく少なくしたい。コメント行は削除し、
を多用する場合は<PRE>タグを使うなど、細かな工夫をしてみよう。

最後に、CGIを使う場合には、フォーム入力のインターフェイスに気をつけよう。フォームへの文字入力は、iモード端末からはとても面倒だ。また、数字やカナ、アルファベットの切り替えも手間がかかる。入力フォームはなるべく少なくするか、選択ボックス式で代替できるならそのほうが望ましい。

iモードでは使えない機能

- ・ JavaScript <SCRIPT>
- ・ テーブル <TABLE>
- ・ フレーム <FRAME>

iモードではこの3つのタグが使えない点に要注意。


・ 画像ファイル

対応している画像ファイルはGIFだけで、JPEGなどは表示できない。アニメーションGIFや透過GIFについては、一部の機種でのみ対応となる。

- ・ 文字コード
シフトJISのみ。

iモード独自のHTML

- ・
指定の電話番号に電話をかけるタグ。
- ・
携帯電話の番号ボタンでリンク先にジャンプする。矢印で選ぶ動作を省略できる。1から9までの数字と「#」「*」が指定できる。
- ・ 絵文字 (&H63647;など)

iモードには独自の絵文字があり、&H63647;のように記述する。ただし、これらはiモード以外では表示されない。絵文字の一覧はNTTドコモのページ  を参照。

 www.nttdocomo.co.jp/i/tag/emoji/

同じURLでコンテンツを切り替える

通常のホームページとiモード用のホームページを作る場合は、普通は2つのファイルを用意する。iモード用のURLを「www.ne.jp/abcde/i/」などとして、ディレクトリーを別にする方法が一般的だ。しかし、iモードはただでさえURLが入力しにくい。そこで、同じURLで通常ページとiモード用ページが切り替わる方法を紹介しよう。


[1] CGIを使った手法

CGIはプロバイダーによっては使えないなどの制約があるものの、もっとも確実に切り替えができる。右のi1.cgiの①がiモードかどうかを判別している部分だ。②でiモード用のHTMLをprintで表示させ、③で通常のブラウザ用のHTMLを表示させている。このファイルをプロバイダーで決められたCGIを置くディレクトリーに置き、トップページのURLをそのファイルを参照するもの（http://www.***.ne.jp/***/~.cgi）にすればいい。

[2] JavaScriptを使う方法

iモードではJavaScriptが使えないが、発想を転換したJavaScriptの利用を考えよう。右のi2.htmlのようにJavaScriptの部分にブラウザ用のページを記述し、JavaScript以外の部分にiモード用のページを記述する。ただし、ファイルを長くしないように、フレームを使って別ファイルを呼び出す④。フレーム未対応のブラウザも配慮して、⑤で使用ブラウザをチェックする。

[3] その他の方法

通常のホームページをiモード対応のホームページに最適化して見せてくれる「iFOX」のようなサービスもある。これを利用すれば、入力は少々面倒だが自分では何もする必要はない。

 wwwzk.biglobe.ne.jp/~misawa/


i1.cgi

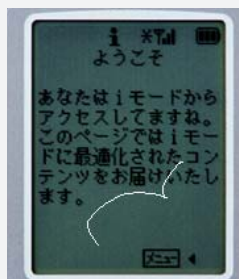
```
#!/usr/local/bin/perl
print "Content-type: text/html\n\n";
print "<html><head><title>テスト</title>
</head><body>";
if($ENV{HTTP_USER_AGENT} =~ /^DoCoMo/)
{
print "<h1 align='center'>ようこそ</h1><br>";
print "あなたはiモードからアクセスしてますね。
<br>";
print "このページではiモードに最適化されたコン
テンツをお届けいたします。";
} else {
print "あなたはiモード以外からアクセスしてま
すね。";
}
print "</body></html>\n\n";
```

i2.html

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
<!--
if (( navigator.appName == "Microsoft Internet
Explorer" ) || ( navigator.appName ==
"Netscape" )) {
document.write ('<html>');
document.write ('<frameset rows=100%,
*>');
document.write ('<frame src="non_imode.
html">');
document.write ('</frameset>');
document.write ('</html>');
};
// -->
</SCRIPT>
<PRE>
ここより以下に書かれた内容は、
iモードからアクセスされたときに表示されます
</PRE>
```


ソース収録先

 CD-ROM収録先 (A) Special Imode



メールマガジンとの連動がオススメ

iモードユーザーに情報を発信していくうえでポイントになるのは、電子メールマガジンの使い方だ。iモードのホームページは、一度は見てもらえたとしても、URL入力が面倒なのでブックマークに登録されない限りは再訪があまり期待できない。こうした場合には、メールで更新状況などを配信するのが効果的な手法だ。

すでにこの仕組みに気付いた人も多く、iモード専用のメールマガジンの発行も相次いでいる。電子メールマガジン発行支援システムの定番「まぐまぐ」で「iモード」というキーワードで検索をすると、29件のメールマガジンが紹介される。これ以外のものも考えると、

おそらくは100以上のiモード向けメールマガジンがすでに始まっていると思われる。

iモード向けのメールマガジンを発行するうえで気をつけたいのは、購読を中止する方法を明記することだ。iモードのメールはパソコンに比べれば読むにも削除するにも面倒で、読みたいメールが来てしまったときのフラストレーションはパソコンに比べてはるかに大きい。購読を中止する方法は必ず明記して、トラブルにならないように注意しよう。逆に言えば、iモードのメールマガジンの読者層は熱心なユーザーであるということでもあり、読者の顔の見える発行しがいのある媒体だと言えるだろう。

 www.magz.com

グレードアップ

7

バナー広告を貼って ホームページで得をしよ

「自分の興味あるテーマを集めてホームページを作るだけではつまらない！」なんて考えている人も多いはず。そんな人に向けて、ここでは「ホームページに付加価値を与える」バナー関連サービスを紹介しよう。ホームページ作りに活用すれば、お金がもらえたりアクセス数が増えたりといいことづくめ？



個人でバナー広告を付けるには

個人のサイトでもバナー広告を掲載すれば、実績に応じた報酬を得られる。広告システムを運営する企業のサイトで登録する手続きは、代表的な「パリュークリック」^{Jump01}や「サイバークリック」^{Jump02}でほぼ同じ。IDをもらうために、まず専用ページで申し込んで、サイトの内容やアクセス数などについて審査を受ける。合格するとHTMLの一部が送られてくるので、これをホームページの決められた場所に貼り付ければOK。広告は運営側が入れ替えるので、いったんバナーを貼り付ければ、更新やメンテナンスを気にしなくてもよい。

気になる報酬だが、実際のクリック数、つまりバナーをクリックして広告主のサイトにアクセスした数に応じて支払われる。1か月の平均クリック数やサイトの充実ぶりなどで等級が分かれていて、パリュークリックが15円から25円、サイバークリックが20円から40円。パリュークリックには、特定のプロバイダーを使っている人に、通常よりも数円高い報酬額の優待サービスもある。仮に毎日1000アクセスあったうちの、1パーセントの人がバナーをクリックしたとすれば、1か月で報酬は6,000円。ホームページの更新意欲もきつと上がるはずだ。

パリュークリック、サイバークリックのサービス概要

	パリュークリック	サイバークリック
基本報酬額	15円(1日平均50回まで)	20円(CyberClickメンバー)
上級報酬額	20円(51回以上)	30円(CyberClick Premium)
最上級報酬額	25円(ファーストクラブ会員)	40円(パートナー契約を結ぶ)
締め日	毎月月末	毎月月末
支払い日	翌月25日(休日の場合翌営業日)	翌々月末の第5営業日後まで
支払い最低金額(未滿の場合翌月繰り越し)	5,000円	5,000円
掲載不可の条件(内容)	アダルト、公序良俗に反するもの 著作権、知的所有権に違反するもの 出会い系サイト 掲示板、チャットメインのもの 他社バナーが多数掲示されているもの	アダルト、公序良俗に反するもの 著作権、知的所有権に違反するもの 出会い系サイト
掲載不可の条件(対象者)	特定の利用者だけを対象にしたもの	特定の利用者だけを対象にしたもの
掲載不可の条件(アクセス数)	アクセス数が著しく少ないもの	*規約上には記載なし
ページ上の位置	掲載するページの上から1/3以内(800×600で表示した時にスクロールせずにバナーが見られる範囲に収めること)	掲載するページの上から1/3以内
提供しているバナーのサイズ	468×60ピクセル	サイバークリック(468×60ピクセル) サイバークリックロゴボタン(143×60ピクセル) テキスト広告(30文字) メール広告(クリックインカム・5行)

パリュークリックの申し込みページ
広告掲載サイトの登録ページ。申し込み前に、きちんと規約を確認しておこう。
^{Jump01} www.valueclick.ne.jp/cgi-bin/getstarted/

サイバークリックの申し込みページ
ホームページに掲載したいバナーの種類によって、申し込みフォームが異なる。
^{Jump02} regular.cyberclick.net/publish.html

バナー交換でアクセス数アップ

主なバナー交換サービス

サービス名称	KJump
CSJバナーエクスチェンジ	www.csj.co.jp/BX/
リンクエクスチェンジ	japan.linkexchange.com
看板屋	www.kanbanya.com/kanban/
X-Banners	www.media-wing.com/xbanners/
AccessPlusBanner	www.edit.ne.jp/agency/access/banner/
LinX Japan	www.02.so-net.ne.jp/drache/search/urlsrch.html
Chibi Change Banner	www.asahi-net.or.jp/fv7t-tbt/index2.html



バナー交換サービスを使ったページほかのサイトを表示した回数が増えれば、自分のサイトのバナーが表示される回数も増える。



看板屋のアクセス解析サービスに登録、利用している人のサイトについて、アクセスログを自動的に解析してくれる。

ホームページのアクセス数向上には、充実した内容もさることながら、積極的な宣伝が欠かせない。宣伝の基本は、テーマの似ているサイトにリンクをお願いするパターン。しかし、自分でリンク先を探すのは大変だ。そこで「バナー交換サービス」をおすすめしたい。

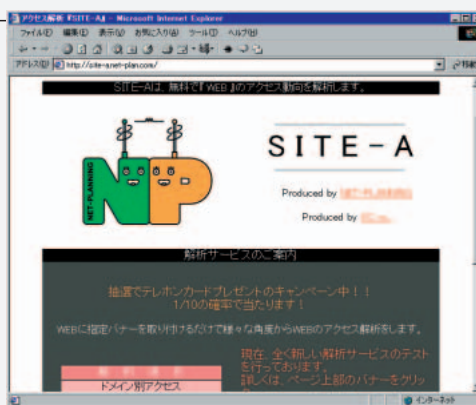
これは、自分のホームページにほかの人のバナーを表示する代わりに、ほかの人のホームページに自分のバナーを載せられる仕組みのことだ。このサービスを使えば、リンク先を探さなくても、同じバナー交換サービスに登録されたほかのホームページに、自分のバナーが自動的に表示される。自分のバナーが表示される回数は、「自分のホームページでほかの人のバナーを表示した回数」に応じて変動する。この割合を還元率と呼ぶ。還元率はサービスごとに異なるが、自分でリンク先を探すのに比べれば、はるかに多くのサイトにバナーを表示できる。また、同時にアクセスログの解析サービスを提供しているところもあるので、サイトの管理や運営のための資料としても、参考になるはずだ。

こんなサービスもある

ホームページに何かを追加することで得をするサービスは、まだまだたくさんある。基本的には、どれもページの一部にバナー広告を載せるのと引き換えに、便利なサービスが提供される。

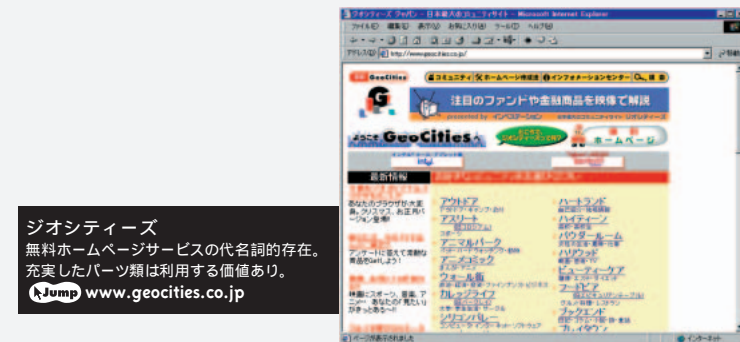
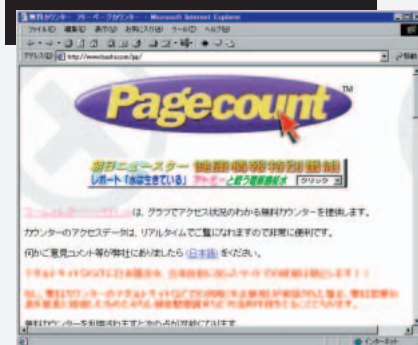
たとえば、無料アクセス解析サービス。自分でログを収集することは不可能ではないし、解析したデータがサイト運営に役立つのも事実。だが、ホームページ初心者にはちょっと敷居が高い。こんな不安も無料サービスを使えば一気に解消される。アクセス数アップのヒントを手軽に引き出すことができるわけだ。

このほかにも、バナーが載る代わりに、カウンターや掲示板など、役立つ機能を無料で使えるサービスは数多い。広告付きとはいえ、どのサービスも「これだけアクセスを確保してほしい」という縛りはない。上手に使えば、「ユーザーCGI不可」のプロバイダーでも豊富な機能を持ったホームページ作りは十分に可能なのだ。「別にお金は儲からなくてもよい」と考えている人も、お得なツールはどんどん使ってみよう！



SITE-A
バナー広告を掲載することで、アクセスログを解析できる。
KJump www.site-a.net-plan.com

ズームコムズ・ページカウント
無料カウンターと、アクセスログ解析グラフが使える。
KJump www.hashi.com/pg/



ジオシティーズ
無料ホームページサービスの代名詞的存在。充実したパーツ類は利用する価値あり。
KJump www.geocities.co.jp

グレードアップ

8

ホームページのURLを マイドメインにしてほしい

ホームページ運用にとことんこだわるなら、マイドメインを持ってみるのはどうだろうか。プロバイダーの「/ username/」付きのURLよりも、「http://www.my-domain.com/」のような簡単なURLのほうが見る人にも覚えてもらいやすい。今回は、NTT PCの個人向けドメインサービス「WebARENA」を例に、マイドメインの取得方法を紹介する。

マイドメインを取るには

マイドメインを使うのはさほど難しいことではない。マイドメインが使えるホスティングサービスを利用すれば、個人でも簡単にマイドメインが持てる。料金も月額数千円と、気軽に利用できる。

マイドメイン開設までの手順としては、

- ① ドメイン名の取得
- ② レンタルサーバーの契約
- ③ DNSの設定

といった作業が必要となる。ただし、こうした作業はすべて業者が代行してくれる場合が多いので、あまり難しく考えることはない。

どんなドメインが取れるか

ドメインには、jp やuk といった国別のドメインと、com やnet のように世界中の誰でも利用できるgTLDと呼ばれるドメインがある。日本のドメインであるjp は組織の属性によってco.jp、ne.jp、gr.jpなどに細分化されていて、たとえばco.jpであれば会社としての法人登記が必要になるといった制限がある。個人で利用できるドメインは、任意団体向けのgr.jpか、地域型ドメイン（xxxx.chiyoda.tokyo.jpなど）に限られる。

com やnet といったgTLDドメインにはこうした制限は特になく、個人でも好きなドメインが利用できる。ただし、世界中で利用されているドメインなので、希望の名前はすでにほかの人に使われている可能性も高い。

to やnu といったjp以外の国別ドメインでは、個人利用に際して特に制限のないところも多い。個人で利用する場合には、こうしたドメインを使うという方法もある。

ドメイン	割り当て対象
co.jp	日本国内の株式会社や有限会社などの営利法人
ne.jp	日本国内のネットワークサービス
gr.jp	日本国内の法人格を持たない任意団体（グループ）
com、net、org	世界中で利用できるドメイン
to	トンガ王国の国別ドメイン
nu	ニウエ国の国別ドメイン

気になる費用は

まずはドメインの登録料が必要となる。jpドメインの場合は10,000～20,000円程度、com やnet の場合は70ドル程度（2年間の保持料を含む）。to やnu といった国別ドメインの場合にはそれぞれ所定の料金（50～100ドル程度）が必要になる。

さらに、ホスティングサービスの料金が必要

になる。今回紹介するWebARENAの場合には、jpドメインの取得代行料は15,000円、月額料金は3,500円（法人利用の場合は5,800円）。jpドメインを利用する場合には使用料を支払うことになるが、この使用料も月額料金に含まれている。

マイドメイン取得から利用まで

それでは、実際にマイドメインの取得から利用までの手順を紹介しよう。今回は、サーバーホスティングにWebARENA Suite、ドメインはcomドメインをDiscount-Domain.comで取得する場合で説明する。

[1] マイサーバーの申し込み

まずはWebARENAにオンラインサインアップで申し込む①。申し込みは住所や名前などの必要事項を入力するだけなので、10分もあれば完了する。

オンラインサインアップが終了すると、WebARENAから開通のお知らせがメールで届く。このメールには、管理者用のアカウントやサーバーの仮の名前（aa.st99.arena.ne.jpなど）が記載されているので必ず保存しておこう。この仮の名前でもすでにサーバーとして使うことができる。届いたアカウントを使ってこの名前のサーバーにFTPでファイルをアップロードして、WWWブラウザで表示されることを確認してみよう。

[2] マイドメインの申し込み

次はcomドメインを、Discount-Domain.com②で申し込む。ドメイン登録料は2年間有効で7,800円となる。jpドメインを使いたい場合には、WebARENAで代行申請ができるのでそちらを利用しよう。WebARENAでは、代行手数料は15,000円となる。

まずはトップページで、使いたいドメイン名が空いているかをチェックしよう。その名前がまだだれにも登録されていないければ、そのまま登録の画面になる。こちらの登録も、住所や名前などの必要事項を記入していけば、10分程度で登録は終了する。ドメイン登録完了の通知がメールで届くので、忘れずに保存しておこう。

[3] DNSの設定(1)

マイサーバーとマイドメインの申し込みが終わったら、あとはDNSの設定をするだけだ。DNSの設定は、WebARENA側とDiscount-Domain側の両方で必要となる。

WebARENA側の設定は、契約変更サービスのページ③から行える。サービスメニューの中から「ドメイン名設定依頼」をクリックして、設定パターンは「お客さま独自ドメイン名」を選べば、設定依頼の画面になる。ここで、さきほど取得したドメイン名を入れれば、設定依頼は終了となる。あとは、5営業日ほどでWebARENAから設定終了のメールが来るのを待とう。

[4] DNSの設定(2)

最後に、Discount-Domain.com側のDNSを設する。Discount-Domain.comのトップページの「ドメイン情報変更」から「登録情報変更」をクリックして、「ネームサーバー情報の変更」を選択する④。

ドメイン名登録業者には、普通プライマリとセカンダリーの2つのDNSサーバー名とIPアドレスを登録する。WebARENAでは、

プライマリDNS ns3.sphere.ad.jp
(IPアドレス) 202.239.113.22
セカンダリーDNS ns4.sphere.ad.jp
(IPアドレス) 202.239.113.30

となる。ただし、Discount-Domain.comの場合はこうしたDNS情報を独自のID番号で管理しているので、DNSのID番号を検索して、そのID番号での登録となる。今回検索した限りでは、WebARENAのDNSは「NS-7」と「NS-8」だったので、これを登録する。

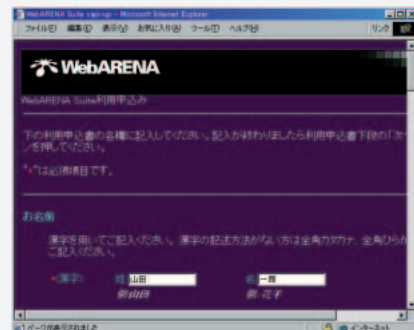
以上で、申し込みと設定は終了で、マイドメインでのホームページが公開できる。

WebARENA Suiteの仕様

初期費用	: 3,000円
月額料金	: 3,500円
バックボーン	: NTTPC (InfoSphere)
の高速バックボーンネットワークに100Mbpsで直結	

Jump web.arena.ne.jp

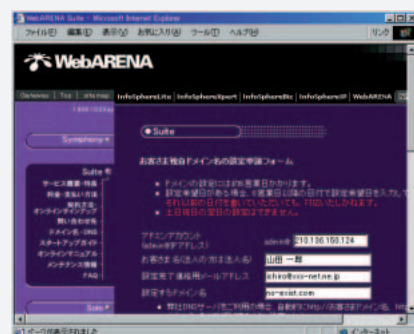
ホームページ容量	: 基本容量:25Mバイト (増設は5Mバイト単位で最大50Mバイトまで)
CGI・SSI	: PerlとCで作成可能
メールアドレス数	: 無制限
マイドメイン使用	: 基本料金に含まれる



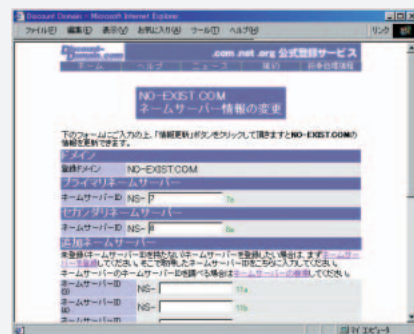
1 WebARENA Suiteに申し込む
Jump <https://signup.arena.ne.jp>



2 Discount-Domain.comでドメインを申請
Jump www.discount-domain.com



3 WebARENAにDNSの設定を依頼
Jump <https://customer.arena.ne.jp>



4 Discount-Domain.comでDNSの設定を変更

グレードアップ

Q

仲間を集めて ホームページでチャットしよう

退屈な冬の長い夜。だれかとしやべり合って過ごしたい人におすすめなのがチャット。いろいろな人たちとネット上で楽しく会話すれば、時間が経つのも忘れてしまう。掲示板やメーリングリストとは違って、気軽に発言できるチャットは、ホームページの常連客づくりには欠かせない要素だ。最後に自分のページで読者とチャットする方法を紹介しよう。

ホームページでチャットするには

ホームページにチャットルームを開設するにはCGIが必要だ。初心者には大変だが、自由に使えるスクリプトや無料開設サービスのおかげで、チャットルームを作るのも、それほど難しいことではなくなった。むしろ気になるのは、人が増えるにつれて、だんだんと表示が遅くなってしまふこと。リアルタイム性が魅力のチャ

ットだけに、これは致命的だ。場所も固定なので、いつものメンバーばかりで新鮮さに欠ける。そこで最近話題の「Gooley」やICQのアドイン「ICQ Surf」で、気分を変えてみてはいかがだろうか。チャットとインスタントメッセージソフトのよいところを併せ持つ、新しいタイプのソフトを紹介しよう。

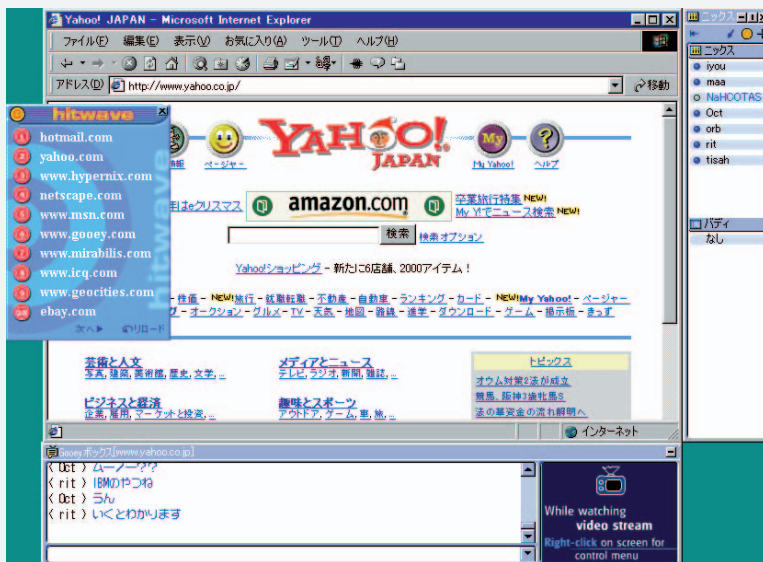
Gooleyで訪問者とチャットしよう

イスラエルの Hypernix Technologies **Jump01** が開発したGooleyは、同じホームページを見ている人同士でチャットができるソフトだ。「Let's Gooley」**Jump02** など、活発なユーザーによる情報サイトも誕生していて、ブームの兆しを見せている。

Gooleyをインストールした状態でブラウザを起動すると、その脇にウィンドウが現れる。どこかのページにアクセスすると、同じページを見ているGooleyのユーザーがいるかがチェックされ、ウィンドウに名前が表示される。ほか

のユーザーがいたら、「こんにちは」とか「Hi」などと気軽に挨拶してみよう。きっと反応が返ってくるはずだ。スピードも速いので、とても快適に会話を楽しめる。

利用のための設定は簡単。インストールするときに自分のニックネームやメールアドレスなどの情報を登録すればOK。これまで英語版だけだったが、12月に日本語版がリリースされ、これから日本国内のユーザーも増えることが期待できる。本誌の付録CD-ROMにも収録したので、試してほしい。



英語に自信があるならば、「hitwave」ウィンドウの上位にランクされたサイトにも行ってチャットしてみよう。

CD-ROM収録先 (A) Win Gooley

Jump01 www.hypernix.com

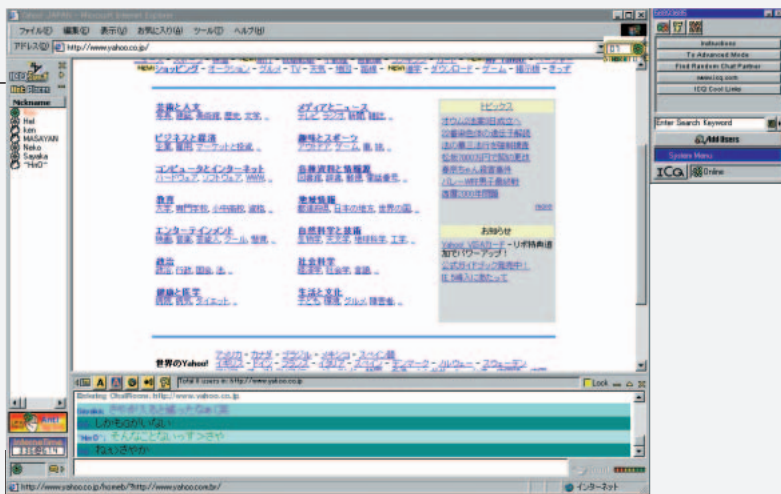
Jump02 member.nifty.ne.jp/KIROSOUKIHIEI/gooley/index_gooley.htm

ICQユーザーならICQ Surf

ICQ Surfは、有名なメッセージソフトICQのアドインだ。基本的な特徴は、前ページで紹介したGoocyと同じ。ただし、ICQ Surf単体では動作しない点が大きく異なる。ダウンロードサイト **Jump01** からICQ Surfだけをダウンロードしても、ICQ本体がなければインストールできないので要注意。

ICQ Surfでは、ICQと同一のナンバーが利用できる。いままでICQを使っているならば、改めてナンバーを取得し直す必要はない。設定に迷ったときには「ICQ道場」 **Jump02** をはじめとする、ICQについてのお助けサイトで情報を探ることができるのも強みだ。

ICQ Surfを起動すると、ブラウザの表示そのものが変わり、メッセージの交換ができるようになる。基本的には、メッセージ欄に会話を入力していけばOKだ。



起動すると、ブラウザの表示が変わる。左の部分にアクセスしているユーザーが表示される。メッセージは下に入力して送る。

気になる日本語への対応だが、そのままでもメッセージに日本語を使うことは可能だ。アイコンやボタンの表示が気になるなら、前述したお助けサイトなどで公開されている日本語化パッチをダウンロードして利用するのも1つの方

法だろう。

ICQ Surfの長所は、何と言っても利用者の数。ICQ自体が普及していることもあって、いろいろなサイトで会話の相手を見つけられ、自分のサイトに呼び込むことも可能だ。

Jump01 www.icq.com/icqsurf/

Jump02 pockets.otto.to/icq/

自分のホームページに仲間を呼ぶには



自分の使うソフトと行動パターンを書い
ておけば、チャット相手が見つかりやすい。
もちろんサイト内容の充実もお忘れなく。

GoocyとICQ Surf、どちらを使うにしても、チャット仲間に出会えるかどうかは、自分のよく見て回るサイト次第だ。たくさんの人が訪れるサイトでは、ユーザーを見かけることも多いが、必ずしも期待したとおりに話がはずむとは限らない。新たな出会いを求めるならば、自分のホームページを使って積極的に宣伝をしてみよう。

宣伝と言っても、難しく考えることはない。自分のニックネームと、「何時ごろ」「どのページに」いることが多いか、ホームページに書

いておくだけでよい。ついでに、ソフトの使い方やダウンロード先へのリンク、さらには前に紹介した「Let's Goocy」や「ICQ道場」などの有名サイトなどをリンクしておけば完璧。興味を持った人がホームページにアクセスしてくれるようになればしめたものだ。もちろん、来てくれた人を飽きさせないよう、宣伝だけでなく内容の充実にも力を注ぐのを忘れずに。

また、チャットでは積極的に「しゃべる」こと。だれかが話しかけてくれるのを待っていても×だ。

ボイスチャットができるHearMe

音声付きのチャットをしたい人には、HearMe **Jump01** がおすすめ。これはホームページに埋め込むActiveXコントロールで、あらかじめインストールすれば、音声付きのチャットが楽しめる。

HearMeを使ったチャットツールは無料。ダウンロードページ **Jump02** にアクセスし、いくつかの質問（住所など）に答えればインストールできる。HearMeのサイトにリンクしている専用ページにアクセスすれば、日本語でも問題なく会話ができる。

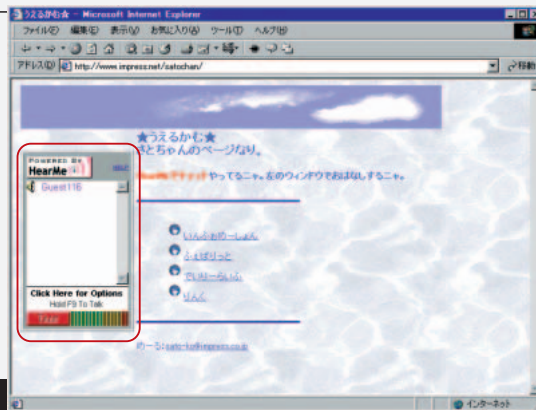
こういったツールは、まず自分のホームペー

ジにチャットを設置して仲間を増やすのが、楽しく使うための第一歩だ。

ホームページにチャットを設置するには、設置したいURLなどを書いて申し込む。所定のスクリプトがメールで送られてくるので、ホームページに貼り付ければOKだ。

Jump01 hear.me

Jump02 hear.me/join/



ホームページにHearMeを設定した例。まずはここを基点に、友達を誘ったりして音声チャットに挑戦してみよう。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp